

空き家問題から考える ご自身の住まいの未来

市の空き家率は2008年度の10.0%から、2013年度には12.1%へと増加しています。共に歩んできたご自身の住まいの未来を考えてみませんか。

【都市政策課住宅政策担当】

空き家の何が問題？ 管理が適正になされず放置された場合が問題



- ！ 草木の繁茂**
景観の悪化や不法投棄、害虫の発生を誘発
- ！ 建物の劣化**
老朽化による倒壊の危険性
- ！ 防犯上のリスク増大**
放火や不審者の不法侵入など
- ！ 防災面でのリスク増大**
地震などで倒壊して避難経路をふさいでしまう

問題を解決するために 市役所都市政策課へご相談ください

住まいの相談窓口

周囲に悪影響を及ぼす前に、相談してください

売却する？

賃貸物件として貸し出す？



解体して空き地にする？

空き家活用等マッチング制度

空き家を所有している方と空き家を活用したいと考えている方をつなげる「空き家活用等マッチング制度」があります

あそび展

8月11日(土・祝)～9月2日(日)
10時～18時(入館は17時30分まで)

そうだ!美術館へ行こう!

子どもたちの夏休みの時期に合わせ、美術館が所蔵する作品約2000点の中から鮮やかな色使いの絵画や、変わった素材で作られたオブジェなど、あそび心あふれる作品をたくさん展示します。また、特別企画として気鋭のクリエイターによるアニメーションを週がわりで上映します。

【美術館 ☎ (88) 1177】



砂アニメーション
(上映期間 8月11日(土・祝)～19日(日))
若見ありさ
《Birth-つむぐいのち-水の中の妊婦》

休館日 月曜日(8月13日は開館)
観覧料 一般200円(150円)、大学生100円(70円)
※ 高校生以下、市内在住で65歳以上の方、市内在住の障害者と介護者は無料
※ ()内は20人以上の団体料金
主催 公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団
協力 東京造形大学デザイン学科アニメーション専攻領域

今っぽく楽しむ「むかしあそび」ワークショップ

日本の昔ながらのあそびをテーマに、アニメーション作りや、造形あそびをします

- ★動く!おどろき盤のコマ
- ★昭和にトリップ!コマ撮りアニメーション
- ★飛び出せ!秘密のあぶり出しカード
- ★くるくる!紙コップゾートロープ
- ★福笑い!切り絵キャラクターアニメーション

日時 8月11日(土・祝)・12日(日)各10時30分～16時30分(最終受付16時)

ほか 費用各100円

企画協力 若見ありささん(アニメーション作家・東京造形大学特任教授)

どなたでも参加可(未就学児は保護者同伴)事前申込不要



湘南広域「エトワス」

テーマ各市町の「市歌・町歌」

茅ヶ崎市 アロハバージョンが誕生



Facebook いとしのちがさき

茅ヶ崎市歌誕生から50周年。市は市制施行70周年記念事業の環として今年5月、アロハバージョンの市歌を制作、発表しました。

制作にあたっては、さまざまな関係団体の協力の他、市内在住のフォークシンガー・テミヤンさんがアレンジしました。ウクレレの音色が心地よく、姉妹都市の米国ホノルル市・郡を連想させるゆつたりした曲調に仕上がっています。10月まで、12時57分頃から市役所内で流れているほか、市公式Facebook「いとしのちがさき」で試聴もできます。



アレンジした市歌を披露するテミヤンさん

市歌は、市民の誇りや郷土の愛着を深めてもらおうと、1967年の市制施行20周年を記念して誕生しました。「光あふれる湘南の/白い雲わく相模灘」えぼしの岩に散る波は/松の緑にこだまする。茅ヶ崎の自然や情景を映し出す歌詞は、市内在住の眼科医で歌人だった川原利也が手掛けています。また、シンプルで親しみやすいメロディーは「上を向いて歩こう」や「こんにちは赤ちゃん」など、昭和の名曲を制作した中村八太が作曲しています。

歌手の井口小夜子が発表

藤沢市は1950年10月1日、市制10周年記念として市歌を制定しました。「広報ふじさわ」17号市制10周年記念特集号は、特別のA2サイズの紙面の1面中央に市歌を掲げ、その誕生を報じています。

記事によれば、市歌は「藤沢の文化・伝統・建設を歌に現わす」内容の募集に対して203点の応募があり、伊沢十郎市長ら11人の審査により、鈴木政輝さんが一等に選ばれました。鈴木さんは画家で、光と風のテーマで帆船を描いた油彩作品を多く描いています。

作曲のうちに「りんご追分」など数々のヒット曲を生み出した米山正夫に委嘱され、記念式典のなかで歌手の井口小夜子によって発表されました。紙面の「解説」で「この平和は、単なる沈滞ではなく、香り高い文化の光を浴びて、日々に新たな繁栄の未来を予約しているのだ」と書かれ、市歌の行間からは、戦後復興の中にあつて、明日を目指す当時の藤沢の街の息吹が感じられるようです。

問合せ 藤沢市郷土歴史課 ☎ 0466(27)0101

「寒川町」ビクターレコード化も

「水仙が/明るく/さく/寒川の/花とみどり」と

このような歌詞で始まる「寒川町の歌」は、町制施行40周年を記念して、1980年11月1日に制定されたものです。歌詞は町民から広く募りました。「みどり豊かな明るい町」をイメージできることを条件に公募したところ、18件の応募がありました。その中から「寒川町の歌制定委員会」が審査した結果、三沢祐二さんの作品が入選。同委員会一部補作したものを、作曲家の館岡一郎に作曲・編曲を依頼して完成しました。できあがった曲はビクター音楽産業からレコード化された他、40周年記念式典において、町内のコーラスグループ「木犀の会」のみなさんの斉唱により披露されました。

問合せ 寒川文書館 ☎ 3691



レコード化された「寒川町の歌」



ステキなちがさき ひいつけた

風のすべり台や雲のトランポリンなどの遊具が人気で、子どもたちの笑い声が響き渡る里山公園。少し奥に足を運ぶと自然豊かな風景が広がり、思わず写真を撮りたくなるステキな動植物に出合えます。

【景観みどり課みどり担当】

写真協力:坂井源一さん

第2回 やなぎやと 柳谷(里山公園)の自然



夏の終わりの谷戸風景

パークセンターから平成の森の階段を下りると、どこからともなく鳥のさえずりが聞こえてきます。さらに奥へ進むと、柳谷池や芹沢の池、草地、樹林地、湿地、畑などが現れます。にぎやかな多目的広場とは異なり、昆虫や鳥たちの鳴き声と風に揺れる木々のざわめきだけが響く、のどかな自然環境に心が癒やされるでしょう。林や水辺を観察していると、ヤマトタマムシやオニヤンマと出合えるチャンスも。ぜひ夏休みに探検してみてください。



美しく輝くヤマトタマムシ



枯れ草で休息中のオニヤンマ(オス)

国民健康保険、後期高齢者医療制度

70歳以上の高額療養費の自己負担限度額が変更

8月から、70歳以上の方の国民健康保険・後期高齢者医療制度の高額療養費の自己負担限度額が下表のとおり変更になります(70歳以上の低所得の方、70歳未満の方の自己負担限度額は変更なし)。低所得者Ⅰ・Ⅱに該当する方や現役並み所得者Ⅰ・Ⅱに該当する方も、医療機関の窓口で限度額の適用を受ける場合は、認定証の提示が必要となります。認定証の交付には申請の手続きが必要です。

【保険年金課給付担当・後期高齢者医療保険担当】

8月からスタート

□は変更箇所

所得区分		外来(個人単位)	外来+入院(世帯単位)
現役並み所得者	Ⅲ 課税所得 690万円以上	25万2600円+(総医療費-84万2000円)×1% (4回目以降14万100円)	
	Ⅱ 課税所得 380万円以上	16万7400円+(総医療費-55万8000円)×1% (4回目以降9万3000円)	
	Ⅰ 課税所得 145万円以上	8万100円+(総医療費-26万7000円)×1%*1	
一般		1万8000円*2	5万7600円*1
低所得者Ⅱ		8000円*2	2万4600円
低所得者Ⅰ		8000円*2	1万5000円

*1 過去1年間のうち4回目以降は4万4400円 *2 8月～翌年7月の年間限度額14万4000円